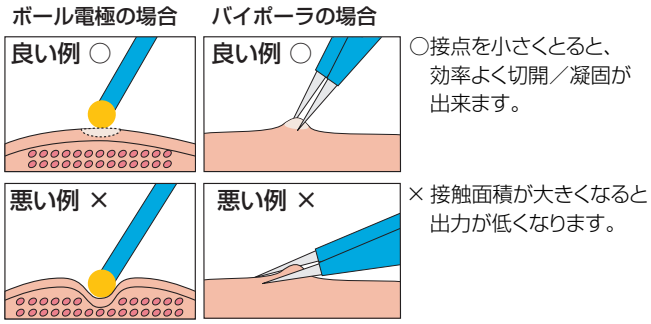
● 凝固テクニック

ボール電極などの凝固用電極は、接触するかしないか程度にできるだけ軽く出血点にあてます。
凝血が付着した電極をそのまま使用すると通電性が低下し、その結果、高出力が必要になり組織の炭化を招きますので、適宜蒸気クリーニングを行ってください。
電極による直接止血が困難な場合には、鉗子などを用いて間接的に高周波止血を行います。
バイポーラフォーセップは、先端を少し開き気味にして出血点を確実にとらえてから通電します。

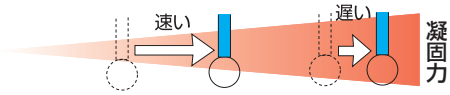


● ポイント

ラジオサージェリーのポイントは、周辺組織への熱の広がり、いわゆる水平熱をいかにコントロールするかという点にあります。水平熱量を決定する要素は、操作速度、出力の大小、電極のサイズ、出力モードの４つです。

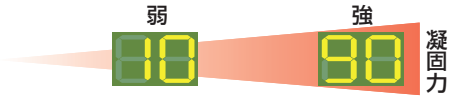
操作速度（電極の接触時間）

組織との接触時間が長いと、凝固力が上がります。



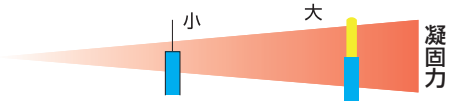
出力の大小

電流の強さが大きいと、凝固力が上がります。



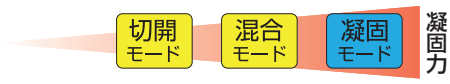
電極のサイズ

組織との接触面積が大きいと、凝固力が上がります。



高周波出力モード

高周波ラジオ波の波形特性は、出力モードによって変化します。



電極に組織がこびり付いたとき【蒸気クリーニング】

生食ガーゼに電極を【通電しながら】軽くこすって下さい。
ガーゼの水分が蒸発し、その蒸気で組織がとれます。
※ガーゼが熱くなるので注意しながら行って下さい。
※アルコールなど可燃性の液体に浸したガーゼは使わないで下さい。引火します。